

学習環境（北海道科学大学）

G棟講義室は、大講義室であっても教員と後方座席の学生の距離を近付けるため、正方形の平面形状となっています。また、前面部の天井高を一般的な3,000mmより高い3,450mmに上げ、普通講義室では大型スクリーンを設置し、画面の視認性が高い教育環境を確保しています。

アルコブ（オープンスペース、溜りの空間）は、「大学共有スペース」に加え「学科スペース」を設け、LAN環境や椅子・テーブルを配置するだけでなく、各学科の資料や模型あるいは解説用パネルなどが用意されています。このスペースは、学生たちの憩いの場、学習の場として利用されています。

また本学では、4年生全員を対象に卒業研究を中心とした研究学習スペースであるゼミ室を提供しています。十分な空間を持ち、24時間いつでも研究に没頭できる学習環境となっています。

A棟講義室は、250名規模の大講義室を4室備えている他、中・小規模の講義室は可動式の机を使い、さまざまな学びのスタイルに対応しています。

2Fと3Fの学生ラウンジは、学生たちの憩いの場、学習の場として利用されています。また、授業後の教室をグループ学習や個別学習スペースとして開放しています。

B棟には、薬剤師が活躍する現場を再現した模擬薬局をはじめ、シミュレーター室、無菌注射調剤室など、薬剤師を目指す学生のための充実した設備が揃っています。

また、学修支援開発・支援室、ラーニング commonsのほか、4～6年生を対象に卒業研究を中心とした研究学習スペースであるセミナー室を提供しています。

E棟講義室は、大型スクリーン3台、65型ディスプレイ4台を設置した、300名が収容可能な講義室(4F)をはじめ、アクティブ・ラーニングを推進するため、インタラクティブボード(多機能電子黒板)を導入した講義室(3F)や、黒板の両脇に120型スクリーンを2台設置した講義室(3F-4F)などを完備しています。

C棟とR1棟には、最新の医療機器や全国でも有数の設備など、新時代の医療人を目指す学生のための充実した設備が揃っています。C棟の北側には実験実習室や研究室、南側には教員室やゼミ室を設け、移動しやすいようにレイアウトしています。R1棟は義肢装具学科で使用する実習室・機械室などを設置しています。

キャンパス再整備計画に基づき、平成30年4月、北海道薬科大学との統合に伴い、G棟(1F)に学務系事務室を配置するとともに、HITプラザ(食堂)及びA棟HUS TERRACE(食堂)を学習の場として開放しています。

体育館は学生の課外活動を全面的にサポートする道内有数の屋内体育施設です。全方位にて競技を観覧出来る1,613㎡のメインアリーナ、少人数での活動が十分に出来る490㎡のサブアリーナ、通年して身体を鍛える事が出来る最新鋭のトレーニングルーム、武道を修練するに申し分ない武道場が2面、半屋外にて競技を行える弓道場・アーチェリー場、メインアリーナを取り囲むように部室棟、合宿所を設置、その他ロッカールーム・シャワールームを完備しています。

また、南側の主要壁面には建築デザインと一体化した太陽光発電パネルを設置しており、地中熱ヒートポンプを熱源としたアリーナ暖房、ハイサイドライトを活用したナイトパーゴ設備など、自然エネルギーや高効率システムを導入した環境への配慮を行っています。